



見附市立見附小学校 学校だより

「自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる見小の子」

みしよ

No. 332

令和5年3月2日（木）発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141

<http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~misho/>



心の交流が見られました

校長 後藤 正美

「全校があこがれるヒーロー たくさんの笑顔をありがとう」

これは、子供たちが考えた六送会スローガンの一部です。6年生に向けた素敵なメッセージとして、体育館へ飾られました。

心の中は見えません。でも、見えなくても伝わります。6年生に対する1～5年生の気持ちが、まるで見えてくるような素敵な六送会でした。体育館だけでなく、校舎の中は6年生への温かな気持ちが伝わる飾りでいっぱいになりました。そして六送会当日は、まだ寒さの残る体育館が、春を感じさせる心地よい空間になったのです。何より6年生の表情が、素敵な六送会だったことを伝えていました。

「やった～！ 終わったあ～！」

これは、六送会が全て終了した後の5年生の言葉です。この言葉には、満足感からくる心地よい疲れの意味が含まれています。達成感でいっぱいの笑顔でした。

「4月からの見附小も、1～5年生の力でますます素敵な学校になりそうで楽しみだ。」

そんな気持ちに私はなりました。6年生の心と行動を引き継ぎ、1～5年生が次の見附小の伝統を新たに創っていけると確信します。全力で準備を進めた5年生には、これから1年間の、目には見えない最高学年パスポートが渡せそうです。自分のよさをひたすら磨き、素敵な最高学年を目指していくことを願っています。

そして、何といたっても見事だったのは、やはり6年生の発表です。

「常に一生懸命」「授業中も楽しく」「思いやり」「団結」

こうした「HEROの極意」を含めた、多くのメッセージを映像で残してくれました。まさに後輩が憧れるヒーローの姿でした。憧れ意識、これが見小の伝統を創るのです。

6年生は、この日を境に卒業生と呼ばれることが増えていきます。卒業式当日は、見小卒業生として「実生の輝き」の姿を後輩へ、そしておうちの方には感謝の心を、しっかり伝えられるように式の準備を進めてくれるはずですよ。

見小っ子の心の交流と、ここ一番の頑張りに感激の六送会でした。